

ジョナス アグタヤさん  
Jonas Agutaya

[ALT 外国語指導助手]

趣味はランニングで、週に3～4日は早朝から8キロ程走っているそう。熊本城マラソンにも参加するほどのランナー。熊本の印象は、自然も多く田舎と都市の中間のようで住みやすく、便利がよいところが大好きとのこと。

## 英語を学ぶことで広がる世界 s ALTとしての想い s

昨年の9月から、甲佐町の小中学校でALT（外国語指導助手）を務めるジョナス・アグタヤさん。フィリピン出身で、学生時代には化学工学を学び、2017年に熊本大

学で産業創造工学の博士号を取得するために来日。バイオマスからエネルギーや薬品を生み出す研究に携ってきた。大学卒業後は専門学校の日本語科に通いながら、熊本大学

で技術員としてアルバイトをし、専門学校卒業後は同大学で半導体に関する研究員として勤務。

「熊本大学での勤務が昨年8月で終了したのですが、大好きな熊本を離れたくなかったため、現在在籍しているALTの派遣会社に登録しました」と話す。

熊本大学での勤務期間中

に、市内の学習塾で小学校低学年の児童を対象に英語を教えたことがあり、その経験がきっかけでALTとしての道を選んだジョナスさん。

現在、午前中は中学校、午後は町内の4つの小学校を巡り、5年生と6年生のクラスを受け持っている。バスに乗って通勤するのが初めてで、通勤や移動時に見る甲佐町の川沿いの風景を楽しんでいるそう。

ジョナスさんは甲佐町の小中学生に英語を学ぶ大切さを伝えたいと話す。「英語を話せるようになると、世界が大きく広がり、新たな挑戦の選択肢が増えます。実際、私が

いた熊本大学では、国際的な学会などに参加するため、英語の資格が必須でした。私自身も幼い頃から英語に触れてきたことで、日本へ来ることで

できました。甲佐町の子どもたちにも、将来のチャンスを広げるために、ぜひ英語に興味を持ってもらいたいです」

どのように学習すれば英語への興味や理解が高まるの

かを尋ねたところ、「フィリピンの家庭では、英語とフィリピン語を混えて話す環境があります。それでも幼い頃から英語が話せたわけではありません。私自身はディズニーアニメを英語で観ることで、徐々に言葉を感じていきました。最初は意味が分からなくても、繰り返し観るうちに理解できるようになり、分からぬ単語は親に聞くなどして学んでいきました。子ども向けの海外アニメは、使われる言葉が簡単で学びやすいので、ぜひ活用してみてください」と楽しみながら学習することが大切だとジョナスさんは語る。

「普段から英語が身近にある環境をつくる事が大事であり、アニメなら苦手意識も少なく英語が楽しめる」とジョナスさん。

「甲佐町の子どもたちが英語を身近に感じ、将来の可能性を広げられるように」そんな思いを胸に、ALTの活動を通して、子どもたちと向き合うジョナスさんは英語から広がる世界と未来を指差す。